

7th E-Life

2021 LIFE STYLE MAGAZINE

なにもしないという贅沢。



Renoshel
PROJECT

リノシェルプロジェクト

CARLIFE
OUTDOOR

7th E-Life WORLD VIEW

SEVENTH
SENSE

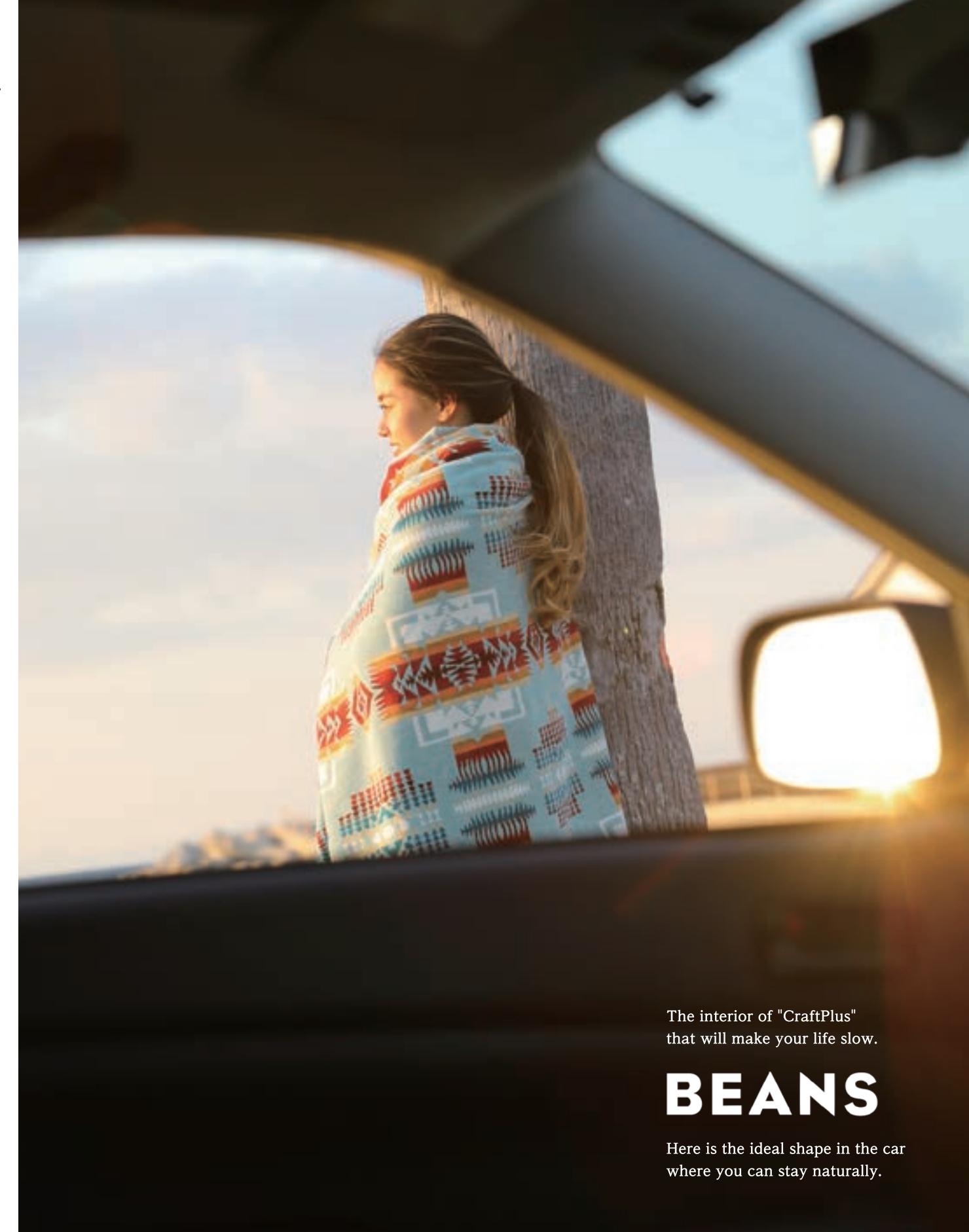
VARIOUS OTHER
PRODUCTS

#02

7th E-life

2021 LIFE STYLE MAGAZINE #02

発行 ● 有限会社ビーンズ 〒501-0413 岐阜県本巣市見延406-1 TEL:058-322-5530 FAX:058-322-5531
<http://www.7th-e-life.jp>



The interior of "CraftPlus"
that will make your life slow.

BEANS

Here is the ideal shape in the car
where you can stay naturally.



7th E

2 | Enjoy (楽しい)

こじんまりとした車内には心地よい空間が広がっていた。本を眺めたりしながらくつろげる自分だけの空間で、ゆったりとした穏やかな時間を心ゆくまで楽しむ。車内と外をつなぐ贅沢なプライベート空間作りこそが私たち7thの目指すスタイルです。

3 | Emotional (感動的な)

どんな場所にでも自由に移動ができる、デイキャンプはもちろんのこと、何日もかけてアクティブな旅に出ることも可能な“足”。第3の部屋として新しい移動型VANを手に入れる。外に出なければ出会えない感動の場面に遭遇する機会を増やしたい。



自分らしく暮らすための7つの“E”

1 | Earth (地球)

太陽からのエネルギー、大地のエネルギーを受け取る。大切な地球へ恩返しするため、ひとりひとりが未来の地球環境維持も考えてみる。使うだけで地球に優しくなるエコなボトルなど、みんなの努力が集まれば地球を守ることができるかもしれない。

すごいスピードで多くのものを消費する私たちコロナは地球からのイエローカードかもしれないだからこそ、ちょっと待って少し立ち止まってゆっくり周りを見渡して欲しい。人として“衣・食・住”的基本はどう向き合うか
「ナチュラルカラーのウッドファニチャー」「くつろぎの時間が求められる空間作り」7thが取り組んできた事から見えたもの琴線に触れた日々の小さな選択を今回も紹介していきます。





6 | Eats (食物)

オーガニック素材にこだわった安心のフードメニュー、視覚的なリラクゼーション効果も高い食べ物たち。食べ物は人としての要求の最優先。気のかけない仲間達と美味しいものを食べてランチやディナーの話に花が咲く。こんなに幸せなことはない。



4 | Ease (和らげる)

浄化された、澄んだ空気の美しさを再確認する。吹き抜ける風を身体で感じることで心身ともにリフレッシュしたい。そしてきれいな水ですべてのストレスを洗い流す。こんな体験はアウトドアに出ないときっと出会えない、リモートでは味わえない。



5 | Easy (気楽に)

気軽に自然と触れ合う機会を作る。開放感を作り出す。自分だけの時間が流れるかのようにリラックスできる空気が流れる。この気軽さはクルマだからこそ味わえるのかもしれない。愛すべき大切な道具たちと一緒に気軽に飛び出したいのだ。



乾いた空気と輝く太陽に恵まれた アメリカ西海岸のスポット

南北に細長い、太平洋に面しているアメリカ西海岸のカリフォルニア。その面積は日本の約1.1倍。ロス、サンフランシスコ、サンディエゴなど日本でもおなじみの都市がいくつもある場所です。真っ青な空、白い外壁、潮の香り、波の音、椰子の木やアメリカンフェンスなど…王道のビーチスタイルは当然のこと、豊かな森や国定公園もここにはあります。カリフォルニアの北の玄関口であるサンフランシスコ、今最も旬なパークレー、西海岸のブルックリンと称されるオークランドも。一年中穏やかな気候であることもカリフォルニアの魅力。カリフォルニアではビーチスタイルにボヘミアン、ミッドセンチュリー、スカンジナビアンといった要素をうまくアレンジしたインテリアを数多く見かけます。そういうミックススタイルを自分の感性で取り入れる。そんな遊び心もカリフォルニアスタイルのひとつ。カリフォルニアのコーストラインの町では海を感じるデザインが溢れます。白壁とナチュラルウッド、そこにブルー系のアイテムを取り入れる。水の透明感を紡ぎ出す、ガラスを使ったテーブルや小物なども差し込めばさらにカリフォルニアらしさの完成度は高まります。

AMERICAN SURF CULTURE

カリフォルニアのような 粹なバケーションタイムを過ごしたい

波乗り天国であり、スポーツの聖地

カリフォルニアは“サーフ天国”でもあります。マリブ、ベニスビーチ、ハンティントンビーチ、サンクレメンテ、パシフィックビーチ…、サーフカルチャーが根付いているサーフシティーがそこかしこに。地形ごとに様々なキャラクターの波が楽しめ、無数のサーフスポットを有する世界中のサーファー垂涎のスポット。カリフォルニアで波乗りをすることはサーフィンライフをする人にとっての大きな夢もあります。

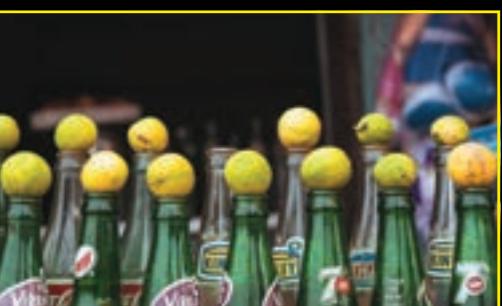
南カリフォルニアでも、サーフカルチャーが盛んなオレンジカウンティ周辺にはトップサーフブランドの大半が集結。我々が慣れ親しんでいるVANSの本社もオレンジカウンティにあり、アウトドアブランドのバタゴニアやノースフェイスもカリフォルニアを代表するブランド。カリフォルニアはそんなアクティブライトスポーツの聖地とも言える場所。海から上がって裸足で歩くサーファーの姿も、街の風景の一部であるカリフォルニアらしい一面。気負いがなくて健康的で自然体で。サーフィンは、ただ波に乗って楽しむだけでなく、自然そのものを体感するもの。自然との共生や保護といった観点も加わるファッショングや音楽とも密接につながった人生を豊かに出来るライフスタイルのような大きな存在。

ファッション、音楽、アート… 様々なサーフカルチャーに触れる

ファッションとしてのサーフカルチャーはアメリカンカジュアルが基本。動きやすいTシャツやデニムパンツ、ネイティブアメリカン由来の幾何学模様Tシャツから、パーカーやニット帽などの小物もサーフファッショングには欠かせないアイテム。音楽としてのサーフカルチャーはビーチ・ボーイズやドノヴァン・フランケンレイター、ジャックジョンソンなどが有名でアコースティックギターを使用したサウンドが特徴的です。さらに、サーフィンを通じて育まれた色鮮やかなアート作品も多数。

そんなカリフォルニア由来のサーフカルチャーからインスピレーションを受けた我々7th E-Life。今回もスタートです！

多くのセレブが集まり高級住宅地もそこかしこに点在するのもアメリカ西海岸の特徴。一方でミッドセンチュリーの古い伝統的家屋もきちんと残されている。それもまたアメリカの良さだろう。



AMERICAN SURF CULTURE

7th E-Lifeのブランドコンセプトでもあるサーフカルチャー。アメリカ西海岸由来のこの文化に触れつつ、インスピレーションを受けた明るく爽やかなデザイン。自然そのものを体感するサーフィンの、ファッショングや音楽、アートといった、サーフィンを通じて育まれた生き方こそが7thがこだわりたいライフスタイルの原点です。



目の前にはビーチが海へと延びていて、ビーチビューや最高に美しいサンセットを眺め、味わうことができる。ホワイトとブルーで構成されていてビーチリゾート感を色濃く演出、海風が通り抜けるサンタモニカや完全なオーシャンビューなど、あるいはいいなと思えるものが、ここにはすべて揃っている。

02 PROLOGUE OF 7TH E-LIFE

10 Renoshel PROJECT
日常からエスケープ。楽しむことが最優先!

23 CARLIFE
7TH E-LIFE VIEW OF THE WORLD
自分らしく、毎日が楽しくなる

33 SEVENTH SENSE
-VARIOUS OTHER PRODUCTS-
心が豊かになるセンス溢れるアイテムたち

49 ONE SENSE × SEATCOVER
“自分らしくしたい”人たちのセンスを覗き見

58 NEW YORK STYLE
アーバンな魅力が溢れる
マットレザー&ハリスツイードの最新作

60 INFORMATION

61 COLUMN
INTERVIEW OF ASUKA NAKASHIMA

62 EPIROGUE

COVER
PHOTO: TARO KODA (STUDIO ROOTS)
MODEL: YUKARI KISHI
STYLIST: AKIKO UENISHI

STAFF
PRODUCE: TAKAHIRO HAGA (BEANS)
MIHARU ADACHI (BEANS)
COPY: TAKAYUKI KIMURA
DESIGN: KOJI FUKAZAWA
PHOTO: OSAMU FUJII (STUDIO ROOTS)
DIRECTION: TARO KODA

なにもしないという贅沢。

Renoshel PROJECT

リノシェルプロジェクト

CARLIFE
OUTDOOR
7th E-Life WORLD VIEW

**SEVENTH
SENSE**
VARIOUS OTHER
PRODUCTS



7th E-Life
with your life style
www.7th-e-life.jp

Weekend Trip

週末は、自分達にとっての旅だ。
そこにはあなたがあなたらしく楽しめる
すばらしい非日常の世界が待っている。

目の前に広がる景色、
降り注ぐ陽光や爽やかな風、
自分らしく自然体でいられる理想形。

使い方も楽しみ方もアイデア次第。
何気ないひとときを
より楽しくしてくれる。
クルマのなかのワクワクする空間。

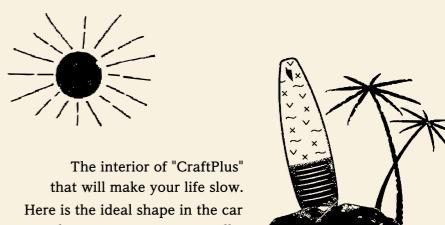
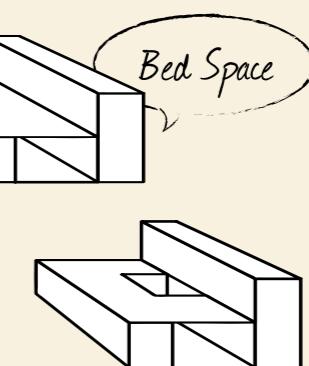
さあ、週末トリップへ出かけよう。



LDG CARGO KIT
COMBINATION + IDEA

無限大の「遊び」アイデア満載。
ハイエースの積載力を最大限有効に使えるギミックが満載の
「LDGカーゴキット」。カーゴスペースが幾通りにも使える豊富な
ベッドパターンの展開力が魅力の最新モデル。もちろんデニムの
天板とモンステラ柄のサイドアクセントの組み合わせも爽やかな
印象でラゲッジスペースいっぱいにリゾート感が広がります。

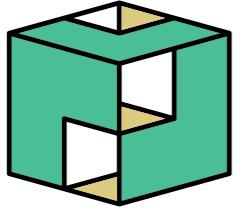
好きなアイテムに囲まれて
趣味と一緒に暮らすカーライフ。



The interior of "CraftPlus"
that will make your life slow.
Here is the ideal shape in the car
where you can stay naturally.

CRAFTPLUS
<https://www.7th-e-life.jp>





Renoshel
リノシェル

日常から
エスケープしたい時に
サッと飛び出せる
等身大の相棒。

いつでも好きな時に寝られる
不便を楽しみ
狭いながらも食事を作ったり
仕事だってできてしまう
非常時にはシェルターとして逃げ込める。

そんな新しい移動型VANを手に入れる
どこにでも移動が可能
時間に追われない自由な生活
好きな時に好きなだけ働く
あとは趣味の時間にどうぞ。



Shelter



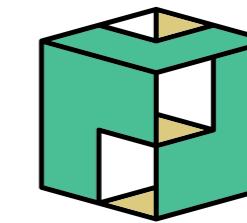
頑張りすぎない、
ちょうどいい空間。

「日々のストレスからのエスケープ」、「プライベート確保」、「震災防御」の観点を盛り込んだ新しいコンセプトの“リノシェル”。睡眠環境を整え、悪天候・非常事態から身を隠す、まずはそんなことが最低限にできればOK。だから、贅沢を考えるのではなく、必要最低限の身の回りのものを収納、活用するスタイル。買いやすい価格の車体、

大きすぎないボディサイズ、普段使いに支障のない室内の作り込み、そんな日常の使い勝手が無理なく維持できることを最優先に考えています。最終的に自分色に染めて趣味の空間に発展させていけたらそれで十分。いざとなった時に活用できる、リノシェルはそんなことを目指した“非常用シェルター”です。



Renovation



Renoshel

リノシェル

Renovation
Repair.
Restoration.
X
Escape.
Secure private.
Shelter

楽しむことが最優先。

「自分」と「自由」のいい関係。

身の丈にあったリーズナブルなベース車を使ってカスタムする「リノベーション」と、日々のストレスから逃げたいとき、自分ひとりになりたいときのプライベート空間の確保としての「シェルター」。そのふたつの要素を合わせた言葉が“リノシェル”です。これは今までにない、自分と自由のイイ関係。もちろん、もしものときのプライベート空間の確保にも生かせます。だから震災非常時のシェルター的要素も兼ね備えます。等身大でできる、頑張りすぎないところから始められる道具として、まずはご提案したい“リノシェル”です。

自からウロコな 使えるベース車選び

営業マンや社用車として人気（…人気ではないが絶大なる“信頼”）のこのクルマ。何から何まで営業マンのことだけを考えたお仕事的バン。それがそのまま、世界のトヨタが本気でバン専用に開発したんだから。

そんなクルマだから、中も外も正直、味もそっけもない。外観の出で立ちは超地味だし、こじんまりとした室内は確かに荷物は積みやすいが、そんなことならハイエースやエブリイの方がもっといっぱい積める。

プロボックスには広々とした荷室スペースはない。大人2人が手足を伸ばすこともできない。天井は低く2段ベッドも作れない。自分が思い描く通りにしたいのなら絶対にハイエースの方がいいでしょう。

でもね？ このクルマには昔あったカローラ・バンのような“道具”としての潔さと、シンプルなまでの美学がある。背伸びもできないし、まわりにイイカツコもできないけど、自分の手足として使いこなせる喜びがある。



日本という道のサイズにぴったりのコンパクトさと、30万キロだって平気で走り切る無言のタフさ。部品はどこでだって調達できるし、燃費だってそこぶるイイ。なんか親父世代の日本のおやじの営業マンみたいだ。

個人的には、かつてのミニ・カントリーマン、シビック・カントリー、ラシーンに通ずる、ちょうどイイサイズのステーションワゴンのような良さにパケてくれそうな気がするクルマなんです。

だから、このクルマをベースにリノベーション。そのままでは野暮つたいから、少しのお化粧と、仕事ではなくプライベートな空間作りも。

バンからVANへ。華々しいバンラ Ifではないですが、VANな姿には変身できそうですよ。自分と誰かふたりくらいなら過ごせそうな空間。ソロキャンパーの相棒としても結構意外にいい素材ですよ、コイツは。



窓は荷物搭載スペースとして有孔ボードで有効活用。これも省スペースを生かす工夫。窓枠サイズにピッタリで、緑のゴムが隙間を埋めてくれるから目隠しとして大活躍。プライベートな空間の確保＆身の回りの物を置いておくのに便利です！ 有孔ボードは吸盤で装着しているだけで脱着も簡単。



テーブルを黒いバーに斜めがけにすればソファーのようにも展開可能。あとは思い思いのお気に入りの小物たちを並べれば自分だけのプライベート空間が完成。仕事に疲れた時や海にでもフラッと走りたいとき、すぐにその場で癒しの時間が始まります。

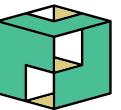


Case-of “Probox”

Renoshel Concept Car

**自分と寄り添う
スロー モード カスタム。**

窓に張り付く有孔ボードと
展開アリアリのテーブル。
狭さを逆手に取った2WAY、3WAYな工夫
ここは自分だけがくつろげ、
発展させる「秘密基地」です！



Rinoshel
リノシェル

Case-01 "Probox"

Rinoshel
Concept Car

レザーと帆布に包まれた

ココは隠れ家の秘密基地

こじんまりとした室内に広がる心地よいワ
ンルーム。キッチンもトイレもシンクも無い
けど、本を眺めたりしながらくつろげる力
プセルホテルよりは広い空間がココには
あります。移動型VANを手に入れられれば、
こんな新しい遊びの仕方が始まる。別
の意味ではシェルター的にも使える秘密
基地に。必要なものを積んでおけばいつ
だってココに避難できる。ストレスからも
解放される緊急用シェルターになります。



BEFORE



AFTER



味も素っ気もなかったパンの室内が、ごらんのとおりの“VAN LIFE”な姿へと大変身。重厚なリアルウッドを使用したヘリンボーン柄の床と同柄のテーブル。このテーブルは2列目シートを起こした時、畳んだ時、ソファーモードとしてなど、幾通りにも展開が可能です。テーブルの固定には折り畳み式の足が2本収納されおりちょうどイイ高さで使えます。有孔ボードは2列目用と3列目用、それぞれの窓のサイズに合わせて専用設計。就寝時の目隠しやプライベート空間を作り出すのに活用できます。



初リノベーションを終え、 一層魅力的になったプロボックス！

上質でマットなレザーが独特の雰囲気を醸し出す最
新シートカバー。そこには帆布生地のストライプがオ
シャレなアクセントに。そして天井には逆バターンのカ
ラー展開で張り替え。ウォールナットのアシストグリッ
プなど、要所を最良の木素材で押さえことで、プロ
ボックスとは思えないプライベート空間へと変貌しま
した。虚飾を排した日本の平屋建築のような佇まいです。



ボディ外観もオシャレに！
ホイールとラインで
リノベーション！



ページのオールベンと昭和風なサイドライン、
ホイールにはクリムソンのDEANクロスカントリーを装着



2列目シートを使用した状態でシートの上と
黒い純正バーを生かしてテーブルを展開。
シートバックは可動域を考えて木柄のポン
リュームを使用。ボディ外観は旧いミニを参
考にオールベンと、レトロな空気感にピッタリ
のホイール、DEANクロスカントリーを装着。
さらにバンパー、メッキエンブレム、サイドスト
ライプなどにも細々とした小変更を追加。



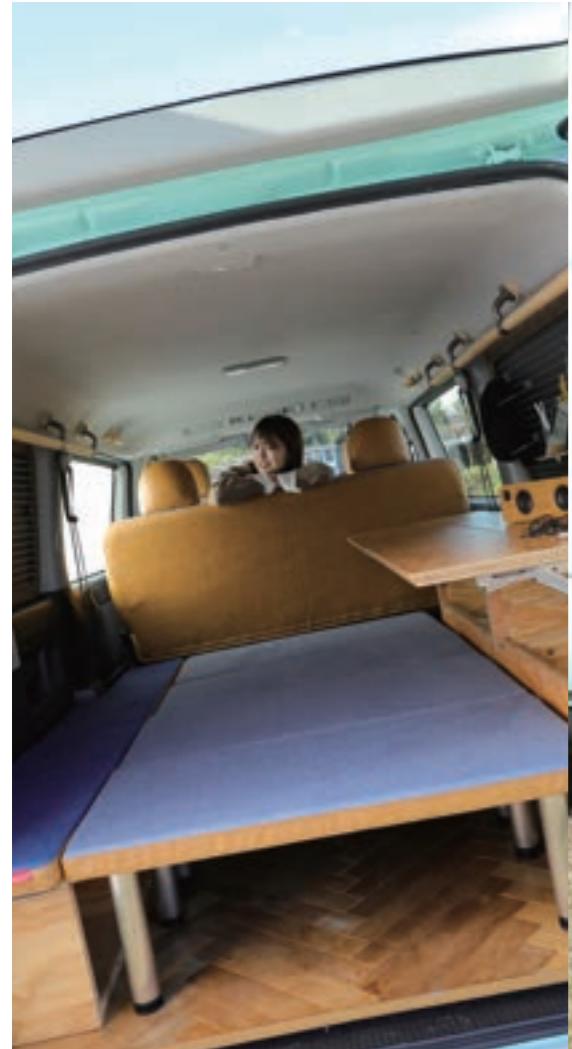
オフホワイトの帆布で 天井部分をリノベーション！

荷物を積まれることが多いプロボックスの
天井は痛んでいることが多い場所。だったら
こんな風にリノベーションできれば見栄えは
ガラリと変身！天井を清潔感のあるオフホ
ワイトの帆布に張り替え、さらにシートカ
バーに使用しているグリーンレザーのストラ
イプをアクセントとしてプラス。室内の統一
感がグッと深まり広さも感じられるように。





Renoshel
リノシェル



ジャパンの逸品です。



キャビネットの中は有孔ボードに。大好きな趣味のグッズを吊るなど“見せる収納”としても使える収納庫。床はオーク材を使用したこだわった作りのヘリンボーン柄。ハイエースの車内とは思えない驚きの室内空間が全身で楽しめます。



Casc-02“Hiace”

Renoshel 200 HIACE

室内と外をつなぐ

贅沢なプライベート空間。

展開バリエーションが2WAYにも3WAYにもなる

新しい荷室の「LDGカーゴキット」。

少ない室内スペースを幾通りにも使いこなせる

リノシェル的機能美の魅力をぜひ知って欲しい。



細やかな配慮を施した
室内空間

ハイエースのベッドキットには、

「あの空間でしっかりと寝られる」、「荷物を積んでそのまま寝られる」、「運転＆助手席はそのまま使える」

という利便性が高く評価されています。キャビングカーまではいらないけれど、車中泊ぐらいはできるようになります。

さらに室内での使用だけでなく、

「外の空気が吸いたい」「椅子やテーブルを外で使いたい」そういった車外に持ち出しての要望にも応え、ベッド

マットを応用すれば椅子やテーブルを片側だけ収納し、キャビネットの天板を引き上げれば、さっきまでフラットだったベッドスペースが使いやすい

テーブル＆ベンチスペースへと変身。テーブル展開時にはキッチンスペースとしても存分に使える広さ。コロナ禍の今なら簡易的な移動式オフィスとしても十分快適に過ごせます。

Renoshel VAMOS Hobio

遊びや車中泊にフル活用

日常ベースの女子キャンパー。

**セキュリティ面や
プライバシー確保に◎**

元々釣りやシュノーケリングに行くアクティブな家族の元に育ち、東日本大震災をきっかけにパパが軽トラベラーズミニポップBeeを購入。「実はキャンプ歴は生まれてすぐからなので、25年です(笑)」。年間80泊は車中泊やキャンプをして過ごしているという筋金入りの女子キャンパーさんの森サン。

愛車である軽バンのバモスは街乗りのことも考えてチョイス。スーパーにも普通に行けるし、ランニングコスト的にも助かっているとか。

「車検の時に大変なのでキャンピングカー仕様は考えていません。だから最初から車中泊仕様です」。

大学在学中に一年間休学してインフルエンサーとして活躍。それが現在の活動のきっかけになったという彼女。現在は女性のためのキャンプ・アウトドア情報発信メディアのなちゅガール編集長として活躍。スタートがキャリーキャンパーなので、荷物をコンパクトにするのはお手の物だ。



それにして、かなり手慣れた様子でそのままハサウエーもスゴい!

「車内は鍵がかかるからテントに比べて安心です。テントよりも疲労回復度が高いですし。テントに比べて車内の方が、風の音が遮断されるのもいいです。長距離を走る人なら後ろがいつでも寝られる仕様だとこまめな休憩が取れる点もありですよ。

キャンプや釣りの時など泊できると便利でしょ? 前泊すると朝からすぐに行動できるし、クルマの中ならテントを漏らさずに寝られるのも利点。キャンプグッズは震災への意識も考えながら揃えています。自分が慣れたバーソナルスペースがあればストレス回避もできますから」。非常時の予行訓練をずっとしている感じもありますね(笑)』と教えてくれた彼女。夜は映画や携帯、ニンтенードースイッチで過ごすことが多いのだそうだ。



朝・昼・夜の非常食セット(1日分)はいつも車内に積載。車内では楽屋みたいにメイクもこなす。USB充電式のヘアアイロンや水不要のドライシャンプーなど女性らしいノウハウも参考になる。荷室のサイドにはハメ込み式の折り畳みテーブルもDIYで製作。



CARLIFE OUTDOOR

7th E-Life WORLD VIEW
Every day seems to be itself and becomes fun.
Abundant myself create time.

趣味に求める要素、クルマに求める要素ってなんだろう？
人それぞれにポイントは異なるけど、趣味にドップリ
浸かっている人のカーライフって興味シンシンです。
美味しい食べ物や大好きなグッズに囲まれる。降り注ぐ
太陽の日差しや焚き火の炎、頬を撫でる心地良い風や
風景を楽しむなど、身の回りの優しいエレメントに癒され
ながら自分だけの最高の時間を過ごすことに各自それ
ぞがフォーカス。リラックス空間の作り方もみなさん
独特。クルマを自分らしく使いこなしているそんな皆さんの
カーライフ、ちょっと覗き見してきました。

FLEX DREAM
LAND CRUISER 95 PRADO

OVERLAND CAMPERS JAPAN
FJ CRUISER

CAMPER
LAND CRUISER 70

SURFER
200 HIACE



LIONA
cub

ホンモノに
ふれさせたい
子どもの家具

ホンモノの
木の手触り、
カジって、
キズだらけにして
そうやって
本物を
見分けるんだ。



FLEX DREAM

LAND CRUISER 95 PLADO

釣り好き女子の相棒にレトロ4WDがよく似合う

休日はロッドを手に釣り三昧という彼女。95プラドに乗って出掛けた先は京都山奥の秘境の地。

実家のお父さんが乗っていたというプラドには彼女の思い入れもひとしお。

イカツさ控えめなヴィンテージなルックスのクルマがよく似合います！



趣味は“100%釣り”
でもオシャレも大切

見かけから都会的な女子なのかと思ついたら、「趣味は100%釣りです」という彼女。しかも、釣りは魚とのファイトを楽しみたいタイプです！“と根っからの釣り好きのよう。「好きなのは海釣りですね。バス釣りもまた楽しめます。特に釣りにハマったのはここ3年くらい。

でも釣りをする時には普段着ないような服を着るようになっています。オシャレも楽しみつつ、釣りも楽しみたい、が自身のスタイルなので。

本気で釣りに没頭する彼女には、これまで一番の釣果は？

「淡路島で釣ったコブダイが一番大きかったです。サイズは80cmでした。ただ大きすぎて臭かった思い出が

（笑）。虫が嫌いなので虫がいるところに行くことだけが嫌なんですけどね」と忍耐強い彼女にも女の子らしい弱点も発見。ちなみに、今回のプラドはどうでした？

「シートカバー、色目や素材感含めかなり可愛いですよね！実は鹿児島に居る実家のお父さんがプラドに乗っているんです。だからこのプラドは大好き。よく朝3時に起こされて釣りに一緒に行っていたことを思い出しました。ウチの家族は弟も釣りをしますしお母さんは魚を捌くのも上手」なのとか。釣りガールに95プラド、よく似合ってますよね！

**My Hobby is
Only Fishing Perfectly.**



ベージュのシートカバー表皮にレザーの茶色のアクセントが、室内のウッドパネルともバランスのいいカラーコーディネート。差し色としての茶色が効果的に効いています。シートカバーはクラフトプラスの品。ドアの内張り含め魅力的な室内です。



Fishing Girl
Ayaka サン

「お仕事で稼いだお金はほぼ釣り道具に使ってしまう（笑）」と笑う彼女。「アジやサバなどの小さい魚なら捌けますよ」というのはサスガ。大雨の中、服が絞れるくらいビショ濡れで釣りをやっているという生粋の釣りガール。“昼過ぎから夜の9時頃までやっていることもしょっちゅう”とか。



“釣り”が彼女の休日のライフスタイルのほぼ全てを占めていることもあって、彼女が好んで着るファッションアイテムはアウトドア系ブランドかユニクロで買うことが多いとか。撮影日となった本日もネオンカラーの明るい色目のアウターを着たファッションで楽しんでいます。普段の街中とは違う、でもゴリゴリの釣りマニアではない、女性らしくて可愛いファッションには好感度大です！

flexdream

TOYOTA
LAND CRUISER 95 PRADO

アルブルーにオールペンされたフレックストリーム製作の95プラド。FDクラシックの丸目ヘッドライト、ディーンの16インチホイルなどかなりオシャレ。街乗りからアウトドアまであらゆるシチュエーションにピッタリとハマる。タイヤはBFグッドリッチのオールテレーンT/A(235/85)、輸出仕様のブラック縦ライングリルもソソります

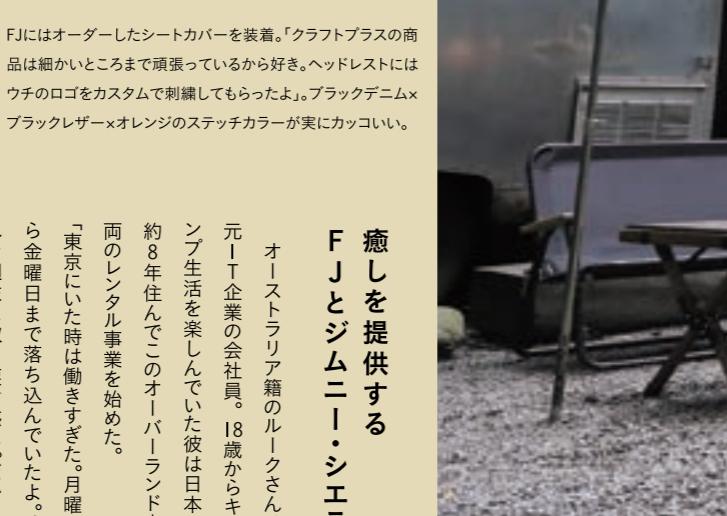




An Authentic Exaggerated Rand style Can Be Enjoyed by Rental in Japan.



クルマにはフライパンやガスコンロ、1500Wのバッテリー、お皿、コップ、コーヒーメーカー、テーブル、椅子…とにかくなんでも揃っている。エキストラな用意として子ども用の椅子や映画試写用のプロジェクターもレンタル可能だ。



FJにはオーダーしたシートカバーを装着。「クラフトプラスの商品は細かいところまで頑張っているから好き。ヘッドレストにはウチのロゴをカスタムで刺繍してもらつたよ」。ブラックデニム×ブラックレザー×オレンジのステッチカラーが実にカッコいい。

FJとジムニー・シエラ 癒しを提供する



オーストラリア籍のルークさんは元ＩＴ企業の会社員。18歳からキャンプ生活を楽しんでいた彼は日本に約8年住んでこのオーバーランド車両のレンタル事業を始めた。「東京にいた時は働きすぎた。月曜から金曜日まで落ち込んでいたよ。それをお休みで楽しむのが大好き」と語る。オーバーランド車両をターゲットに何かしたいなと思つて。オーバーランドは雨が降つたらすぐに「フィニッシュできる」と全

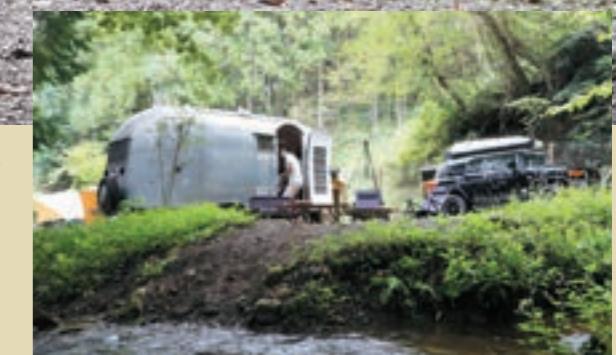
作業はファンタッチ。クルマもキャンピングカーっぽくないからいいでしょ。クマの周囲だけで寝て遊んで完結できる。男は火を点けるのが大切！ そういう本能的に野生的なことつけて今は忘れがちでしょ?』とキャンプグッズの準備が不要のグランピングとキャンプの中間のようなこの楽しみ方を提案している。それがルークさんの提案する旅のスタイル。

通常は3～5日のレンタルが多い

とのことだが、海外の人だと1ヶ月くらい使いたいという人も多いとか。

海外の人気が思うオーバーランドスタイルを日本で楽しめる。これだけでも十分価値があると思う。

「オーストラリアにはこういうロードトリップのビジネスが多いんだけど、日本はないよね？だから自分でやろうと思った。キャンピングカーはレンタルしても高いし、ハイエースはあるけど、どうせならカッコいい4WDのクルマでルーフテントがあるオーバーランドスタイルがいいなと」。『自分の趣味が生かせる』というのもこの仕事を始めるいいキッカケになったとか。



Overland Campers Japan
Luke Bridford サン

オーストラリア生まれのルーク・ブリジフォードさん。2020年に立ち上げた「OVERLAND CAMPERS JAPAN」の代表。NHKやフジテレビなどの旅番組にも出演。「スター・バックスやマクドナルドがないような下町をプロモーションしたい。新幹線やバスが通っていない道を紹介したいね。今は日本のプロフェッショナルなターゲットに頑張ろうと思っているよ」と語ってくれた。



TOYOTA
FJ CRUISER
オーバーランド用のレンタル車にはJB74ジムニー・シエラが2台と今回持つて来てもらったFJクルーザーがある。ルークさんのインスタから問い合わせすれば利用可能だ。
info@overlandjapan.com

OVERLAND CAMPERS JAPAN

FJ CRUISER

海外仕込みの“オーバーランド”レンタル可能デス！

ルーフトップテント付きのオシャレな4WD車で

オーストラリア仕込みのオーバーランドスタイルの“癒し”を日本で提供したい、
とレンタル事業を始めたオーストラリア人のルークさん。その個性的な生き方と事業、必見です！



The Happiness Which is Circled by Something Old and Troublesome.

キャンプの際にはテント泊をするので使用しないが、釣りの仮眠などでかなり活躍するというクラフトプラスのベッドキット。集成材のウッドを使用した右サイドの家具に、カーキ色の帆布とバロンレザーをマチに使用したオリジナル仕様は相性もバツグン。全体にシックな色目もランクル70にベストマッチ!



カーキ色のベッドマットと好相性な印象の、マットな質感の最新シートカバー。この仕様は最近取り扱いが始まったばかりの最新のレザーライ生地! この車内のカラーリングの統一感も実に素晴らしい。このシート生地はコロナが気になる方のために次亜塩素酸アルコールで消毒もできるので、超オススメだ。

そのスタイルも魅力ですね!
でもそうやって自分らしいスタイルが完成したらとってもハッピー。
と手間加えてでも自分好みにカスタムするのが大好きな人です。

カーミントチャアは、脚を10cm延長したり、肘掛けも太いものに交換するなど自分好みへのカスタムに妥協は無い。ドイツ製のフライパンにアシモクラフトのマグネットグリップを追加するなど、すべてにおいてひりの品がズラリと固めている。



シートの背面にはパックルで装着可能な小物入れが装着。アウトドア好きでキャンプ好きな吉田サンには絶好のアイテム。シェラカップなどを引っ掛けるのもかなり便利!

Free Camper 吉田憲生 サン

キャンプ頻度は独身の時は月に4回、家族を持った最近は月に1回程度になったとか。それでも仲間とだったりソロで楽しんでいるとか。保険代理店に勤務の会社員。普段はカローラが営業用の足とか。



TOYOTA
LAND CRUISER 70

愛車はランドクルーザー70生誕30周年記念の復刻モデル。3インチアップの車高の公認取得も自分で行うほどの手間暇も厭わない吉田サンだ。



CRAFTPLUS INSTALLATION CAR LAND CRUISER 70

コダワリアイテムを心から愛するキャンパー

旧車好きなオーナーがたどり着いたのは、壊れない、タフさがウリのレトロな70ランドクルーザー。

選ぶ道具たちも少々手が掛かったって構いはしない。

大好きなモノに囲まれる幸せを満喫するその姿は潔くてステキです!



好きな道具は?と聞くと「ストーブ」と答えてくれた吉田さん。それも灯油の匂いを嗅ぎながらストーブにあたるのが好きとか。ポンピングして使う武井バーナーのストーブは「昔から同じデザインで、ポンピングしないといけない機械っぽいところが特に好き。キャンプでは、道具を眺めたり手入れをしたり。カヤックを楽しむことが多いですね。湖畔が好きなので琵琶湖に来ることが多いです。」

CRAFTPLUS INSTALLATION CAR

HIACE

波に乗ると自分を取り戻せる。クルマは貴重な“城”

孤独を癒すのに復活させた、かつてハマっていたサーフィン。

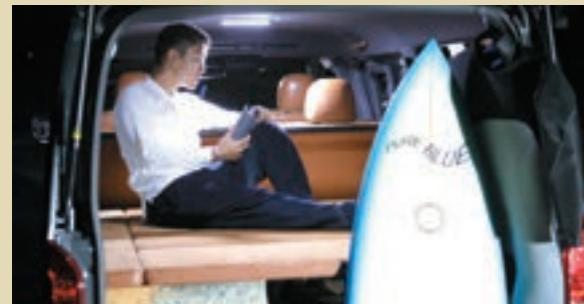
海との対話はこんなにも癒してくれるのかと再確認する瞬間だ。自然は厳しいが時に優しい。

相棒のハイエースの内装には、ようやく見つけたこだわりのクラフトプラスを選んでいる。



アシストグリップなどのウッドパーツに合うシートカバーを、と探していたらドンピシャだったのがクラフトプラスのブラックリン・タイプ2。このコーデュロイの生地感とレザーの茶色が高級感と重厚感を感じさせてくれるからお気に入りだ。

Only the Time and The Happiness
for Which Space Can Be Reserved.



ベッドキット両サイドの収納は色々と物を積むのに便利。波待ちの際に仮眠を取る時はIKEAで買った低反発マットを敷いて寝る。ポータブルバッテリーを利用して海から上がった後にお湯を沸かしカップ麺やコーヒーを入れる時が至福とか。



TOYOTA
200 HIACE S-GL

サーフィンするならハイエースだと思って購入。グレードはスーパーGLのダークプライム。なんとオーダーから5ヶ月待った待望の愛車。タイヤ&ホイール以外はノーマル。

大阪出身の旦那さんと徳島出身の奥様。ふたりの出会いは美容学校の時。結婚→就職の際に奥様の実家がある徳島へと移り住み、そこで久しぶりにサーフィン熱が復活した。

初サーフィンは小学校4年生の時。それ以降特にサーフィンはしていない。なぜサーフィンを復活?「徳島に引っ越したばかりで友達がない(笑)。海も近いし、時間もあるし、サーフィンでもしよう」と。思い切って最初の愛車としてハイエースを買いました。

車両購入後、すぐにネットで買ったベッドキットを装着、でもインスタで見た海外のVANLIFEにかなり影響を受けてしまった。

「ウッドに合う内装に強烈に惹かれて。それで内装の本とか読みあさっていろいろうちにクラフトプラスにたどり着いて。7thのYouTubeがキッカケですね。もちろんチャンネル登録もしています。ベッドやシートカバーの生地はウッドに合うものをと考えてブルックリンのタイプ2です」。

サーフィンにはひとりで行く。その時のハイエースは自分だけの城。自分と向き合える貴重な時間を過ごせる最高の相棒なのだ。



勤める美容室のスタッフにクルマ好きな子がいて、3人掛かりでシートカバー＆ベッドキットをDIY装着。「箱を開けた瞬間“見たことあるヤツや!”ってめちゃくちゃテンション上がりましたね。黒のボディにも合いそうだし。シート背面にポケットが付いててフックが掛けられるのも好きです。センター コンソールのドリンクホルダーがあるおかげでナビも使いやすいので助かっています」

Surf Family

笹井 悠 サン 麻友美 サン 夫妻

大阪出身で美容師の旦那さんと、今はネイルの仕事をやっているという奥様。実は奥様はフォロワーが8万人いる有名なインスタグラマーなのです。SNSは旅行の動画が中心で、夫婦の写真を中心にアップしている。人気の秘密を聞いてみると、奥様の動画編集能力が実に高いということが旦那さんの分析。愛車となったハイエースは2列目の自動ドアも外して安く購入するなどコスト意識も高い。



TOYOTA
200 HIACE S-GL

サーフィンするならハイエースだと思って購入。グレードはスーパーGLのダークプライム。なんとオーダーから5ヶ月待った待望の愛車。タイヤ&ホイール以外はノーマル。



SEVENTH SENSE

VARIOUS OTHER PRODUCTS

心が豊かになるセンス溢れるアイテムたち

自分らしく、人生を豊かに生きるために必要なこと。本当に大切なことって、太陽の光、新鮮な空気、親の愛…、そうみんなタダです。ライフスタイルを豊かに生きるための本質は、実は物質ではなく経験だったりします。そして、毎日を大切な人と笑って過ごす、いつも感動的な場面に出会える、本当に素朴で美味しい恵みに感謝できる…そんなことだったりします。我々7th-E-Lifeがプロダクトを通じて伝えたいのは、そんな気持ちの豊かさ。遊び心溢れるアイテムや心が豊かになるグッズによって日々に張りが生まれ、笑顔になれる。そんなライフスタイルを手助けできるアイテム達。私たち7thE-Lifeスタッフの琴線に触れたプロダクトをご紹介します。



くつろぎの時間にふさわしい
吟味したウッドのマテリアル。

世界三大銘木に数えられるウォールナットの木。

触った時のツルツルとした触り心地の良さ。

傷つきにくく衝撃に強い

重厚で美しい木肌を持つ。

長く愛用できる素材を小ロット分だけお届け。

ぶ厚く質感の高いウォールナットの天板。

ハングアウトと7thがお互いの良さを認め

作り上げたオリジナル家具。

揺らぐ炎を見つめれば、明日への活力は復活する。

7th-E-Life
by CRAFTPLUS



Hang
Out

イタリアンな室内からお届けする
自然由来の薪と窯で焼くピザ



PIZZERIA sorgente(ピッツェリア ソルジェンテ) 営業時間:<Lunch>11:30~15:00(平日) / 11:00~15:00(土日祝祭日)
<Dinner>18:00~22:00(L.O:21:00)
岐阜県岐阜市折立3丁目1-1 TEL:058-215-7555



本場イタリアでは、ピザはファーストフードなのだと。

関西だとお好み焼き、たこ焼きみたいなソウルフード。

今回はイタリアの名店が作るキッチンカーの現場作りを我々7thがお手伝いしてきました！



コンパクトな特注品とはいえ、それでも巨大な窯をメインにスタッフの動線を考えてキッチンカーの車内設備をレイアウト。ナポリの雰囲気を再現するための漆喰の壁、真鍮製の蛇口、灯りには海の雰囲気を感じさせるマリン用のランプなど、各部の演出にも徹底してこだわって作りました。もちろん、一番こだわったのはお店で出す味と同じ味のピザ。コロナ禍の中での船出ですが、少しでもたくさんの人々に美味しい味を届けたい。その一心です。

2021年の今年、創業6年めに入ったソルジエンテ。ここではメインのピザをはじめ、前菜、パスタ、お肉料理、魚料理、デザート、が振舞われます。そんなイタリアンの名店がキッチンカーを作ろうと思ったきっかけは、コロナ禍の影響も大きかったです。そんなイタリアンの名店がキッチンカーを作ろうと思ったきっかけは、コロナ禍の影響も大きかったです。店のすぐ近くに大学があるのですが、店の前を通る大学生のためにティクアウトができ、大学の学食の隣にも出店したいなと。子どもたちのピザ体験教室や老人ホームなどの施設も回ってみたいなと思っています。キッチンカーでは店と同様ピザと、キッチンカー用にパニーニなどを提供したいですね。

今はまだ特注のピザが乗っただけの状態で、ボディ外観に素敵なかなラッピングなどもこれから貼られる予定とか。2021年の年明けにはキッチンカーとしてデビューがあります。そんな食の現場作りのお手伝いができる7thスタッフも感謝無量です。

こだわりの名店の味を
キッチンカーでお届け



1974年創業の老舗家具メーカー
の弘益(コウエキ)が2017年に新た
に事業展開させた「ハンガーアウト」
担当。
株式会社 弘益
ホーム事業部 商品部 次長
桐山 大介 さん

しました。それで自分のハイエースに
も付けたいと思ってお邪魔しました」
と桐山さん。

ハングアウトオリジナ尔との違いは
ウォールナットの天板。重厚感を生か
すため、より厚みのある天板にし、オ
リジナルが取り付け用の穴を貫通し
ているのに対し、敢えて天板の見栄え
を生かし貫通させず持ち運べるギリ
ギリの厚みを実現したとか。



に期待したいところです！



クラフトプラスの製造品をすべて把握している元工場長であり現在営業部長。
有限会社 BEANS 営業部長
小寺 雄也さん

その場の空気をガラリと変える ウォールナットの重厚な存在感

「アクティブな暮らしとくつろぎの外遊び」をコンセプトとするハングアウトと、日本の職人が作る匠の技術で重厚なウォールナットの天板を用意したクラフトプラス。その木工のプロ同士の掛け算はサスガのクオリティ!



- ・**Arch Table**焚き火を囲むように使えるテーブルが3つで1セットに。そこから1つずつ買い足せるようになっている。
- ・**Crank Stacking Rack**棚が上にスタッキングできるラック。
- ・**Crank Multi Table**天板のサイドにシェラカップなどの小物を引っ掛けられるマルチに使えるテーブル。
- ・**Fire Side Table**薪をくべながら酒を飲むこともできるテーブルが天板に付く。ハングアウトとクラフトプラスのコラボ商品はハングアウトのオンラインショップ(<https://hangout-online.jp>)で購入が可能。「他の商品のように店頭には基本並みません。プライオリティを大切に販売します。その限定感も一緒に楽しんでください。」



OUTDOOR FURNITURE

HangOut

X 7th E LIFE!

“ちょっと外に行こう”や“飲みに行こう”と目的もなく軽く誘う言葉のスラングが語源の「ハングアウト」。そこにクラフトプラスがコラボレーション。

今ではお互いをリスペクトしあう担当者に語り合ってもらいました。



家中の中でも外でも
違和感のない逸才

家でも外でも大活躍のアウトドア「ファニチャーハンガーアウト」とクラフトプラスが夢のコラボ! 家具を生業とするメーカー同士が一緒に作り上げたアイテムとは?

サーフィンやSUP、釣りが大好きだというハンガーアウトの桐山さん。「家中ではワクワクして、外出するときこそんびりして欲しいんです。単なるレジャーではなく、仲間との時間をのんびりと過ごす。そこで初めてライフスタイルに変われると思うんですね。ウチは家具のスタイルよりも、その“ライフスタイル”を提案していくたいと思っています。その過ごしやすい家の環境を外に持ち出せるようにと考えたのがハンガーアウトの製品です。」

家の中でも外でも違和感なく使用できるアウトドアギアとして話題のハンガーアウト。テーブルや椅子をメインに焚き火台なども展開。同社とクラフトプラスの出会いは東京の展示会イベントに遡るのだとか。



富岡さんが使う素材はレザー(牛、豚、ワニ、蛇、象、鯉)を基調に、デニム、コルクなど、あらゆるモノが題材。7thのESPROの皮革ホルダーも彼に依頼して開発。500mlのペットボトルも下げられるように工夫されています。肩掛けバージョンや腰のベルトループに引っ掛けられる物など考案中!



その人に必ずササる物を生む モノ作りの達人＆レザーアーティスト



セミオーダーの牛革のトートバッグやベスト型キーケース、ショートウォレット、ロングウォレット、革製の駒をデニムの盤で遊べるデニムオセロなど、富岡さんの発想から生まれたアイデア品がザクザク。思い出のヴィトンのカバンを解体した小銭入れ(右下写真)なども作ってくれます。



「お客様との会話の中で商品がハマって、その人に似合うものが見いだ。」他では断られたんですけど…こんなのが出来ます? というひと言からオーダーが始まることがあります」という富岡さん。そんな時は意地でもやってやろうと思いませんね(笑)。と人懐っこい笑顔で語ってくれる、とっても気さくなレザーアーティストさんです。

斧ケース、ヴィトンの財布のリメイク、カバンを解体した小銭入れ、小学生の子どもさんからは巻く筆箱などもオーダーされたことがあるとか。ランドセルのリメイクでは財布やキーホルダーはじめ、あらゆるオーダーがされるのだそうです。レザーアー加工機でウェディングの写真データを焼いてウエルカムボードとして納品したこともあるとか。もちろんそれはずべて一点モノです。イチから生み出す事はもちろん、リメイクも含め命を吹き込む天才。彼の手にかかる無理なことなんて何もない! そう思ってくれるは、そのままの技術に惚れ惚れしますよ!



「打ち合わせの時に最初に見積もりしたモノが予算オーバーになることもしばしばで(笑)。好きじゃないとでも出来ない仕事です」と屈託無く笑ってくれる富岡さん。「プレスレットを作りたい」と、砂浜や海の写真だけを持ってくる人もいるそうです。その時は水色の麻ヒモを二重で編んだりしてイメージを膨らませて作ったのだそうですよ。前職で保育士さんをやっていたなど、実は異例の経歴の持ち主。子ども達に大人気なのもうなずけます。その発想力が生かした作品達が素敵なのも当然ですね!

思い出も形にする
モノ作りアーティスト

厳格な生産現場から 生まれるデニム生地



織り上げられた500m近いデニム生地の潮を落とす「洗い工程」がこちら(写真右上)。巨大な工場内で、「洗い」→「幅の広げ」→「巻き上げ」という工程を行なっています。会社から支給されるダンガリーシャツとデニムパンツがユニホームの工場スタッフ。デニムに対する愛着もひとしおです(スタッフ写真)。4月に土を耕し、5月にタネをまき、秋には綿花がたわわに弾ける。社内の畑では綿花を育て児島の繊維産業の起源を再確認(写真下段中)。

透けるぐらい薄く軽い3ozからストレッチしないほど重みのある13.5ozまで。クラフトプラスがシートカバーやベッドキットに使用するデニムは8oz。柔らかく軽やかで人が触れるのにちょうどいい厚み。車内用生地に使用できるストレッチ性も兼ね備えています。色の仕上がりが重要な反応染料生地。他の生地とは違う徹底管理を行います。



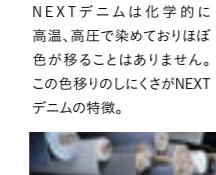
色落ち *Check*

21世紀の新しいデニムとして研究を重ね約10年。下はJIS堅牢度試験を簡易的に再現したものです。10cm角のスペースに乾摩擦、湿摩擦を100往復行います。ウェートの重さは200g。左が一般的なインディゴ生地、右が反応染料で染めたNEXTデニム生地。果たしてその結果は? 下記の写真を見てその色移りの違いをご覧ください。

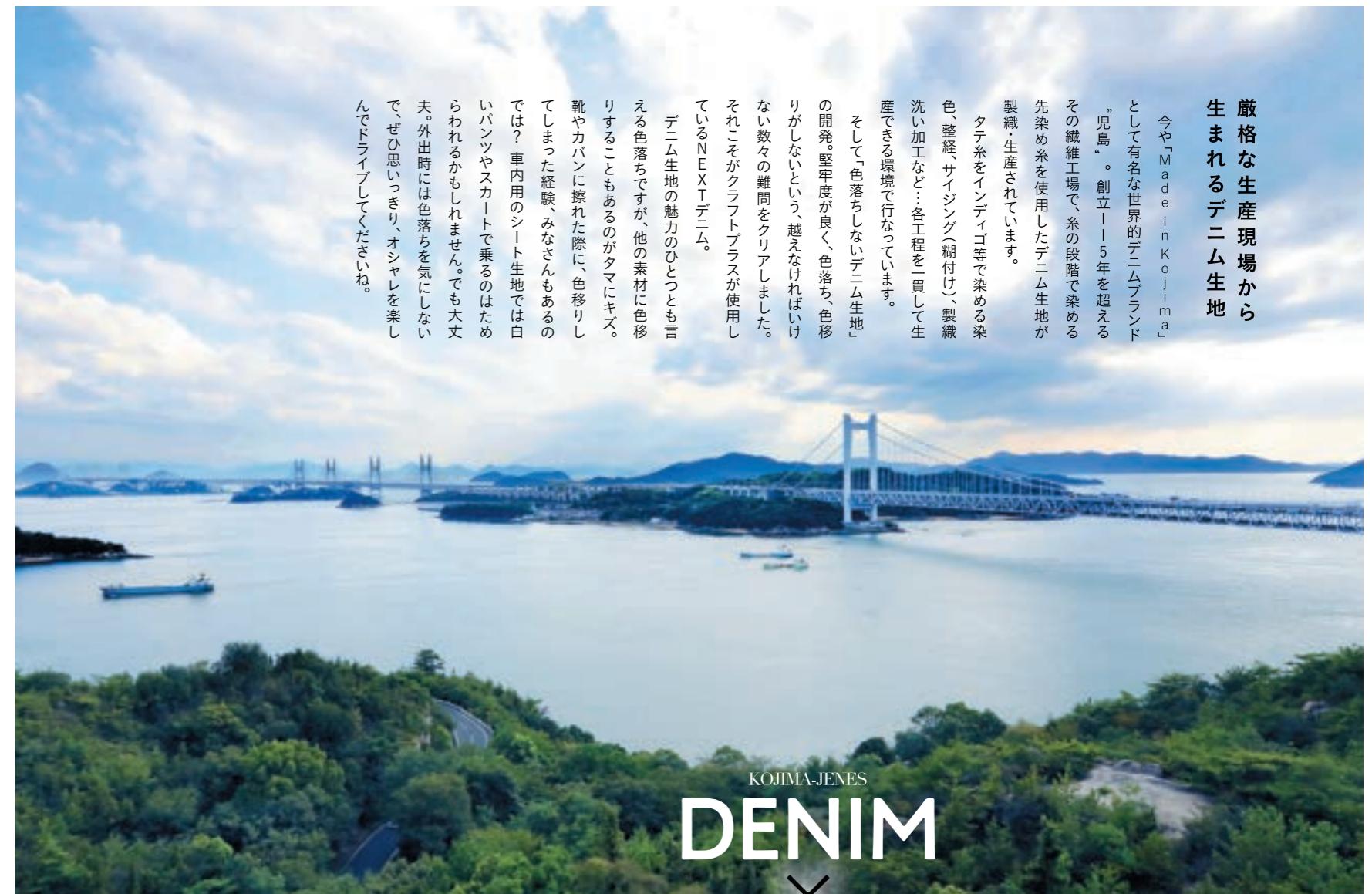


インディゴ
表面が落ちやすい染料のインディゴ。色移りがあります。

反応染料
反応染料染めのNEXTデニム。色移りはありません。



NEXTデニムは化学的に高温、高圧で染めておりほとんどの色移りはありません。この色移りのしにくさがNEXTデニムの特徴。



KOJIMA-JENES

DENIM
X
7th E LIFE!

国産ジーンズの聖地=児島。綿は塩分を多く含んだ児島の干拓地でも良好に育ち、

江戸時代、綿を原料とした繊維製品がたくさん作られたことが児島の繊維産業の起源。

クラフトプラスのアイコンとも言えるデニムの生産現場はココです!



国産ジーンズ誕生の背景には、裁断、縫製、洗い、加工などの一連の技術が児島に集約していた背景があり、その技術の高さを生かしオーダーメイドジーンズやデニム生地を活用した様々な製品が生み出されています。有名な児島のジーンズストリート。約400mのこのストリートには地元ジーンズメーカーの販売店やカフェ、雑貨屋さんが並び、国産ジーンズ発祥の街を盛り上げています。

今や「Made in Kojima」として有名な世界的デニムブランド「児島」。創立ーー5年を超えるその繊維工場で、糸の段階で染める先染め糸を使用したデニム生地が製織生産されています。

タテ糸をインディゴ等で染める染色、整経、サイジング糊付け)、製織洗い加工など…各工程を貫して生産できる環境で行なっています。

そして「色落ちしないデニム生地」の開発。堅牢度が良く、色落ち、色移りがないという、越えなければいけない数々の難問をクリアしました。それがクラフトプラスが使用しているNEXTデニム。

デニム生地の魅力のひとつとも言える色落ちですが、他の素材に色移りすることもあるのがタマにキズ。靴やカバンに擦れた際に、色移りしてしまった経験、みなさんもあるのでは? 車内用のシート生地では白いパンツやスカートで乗るのはためらわれるかもしれません。でも大丈夫。外出時には色落ちを気にしないで、ぜひ思いっきり、オシャレを楽しんでドライブしてくださいね。



板状の刃を粗研磨。刃がアール形状なので熟練の技術が要る作業です。実はこの研磨用の工作機械も全部現場の職人による手作り。粗い刃付けから細かい刃付け、バフ掛けも行います(上段右&下段左写真)。青力ミ2号は900度に設定された炉の中でじっくりと焼きます(ステンレス鋼は1000度に設定)。ここで刃こぼれする刃になるかどうかが決まる重要な焼き入れ作業。温度管理が重要なため炉の中には温度計を複数本用意(中段左)。



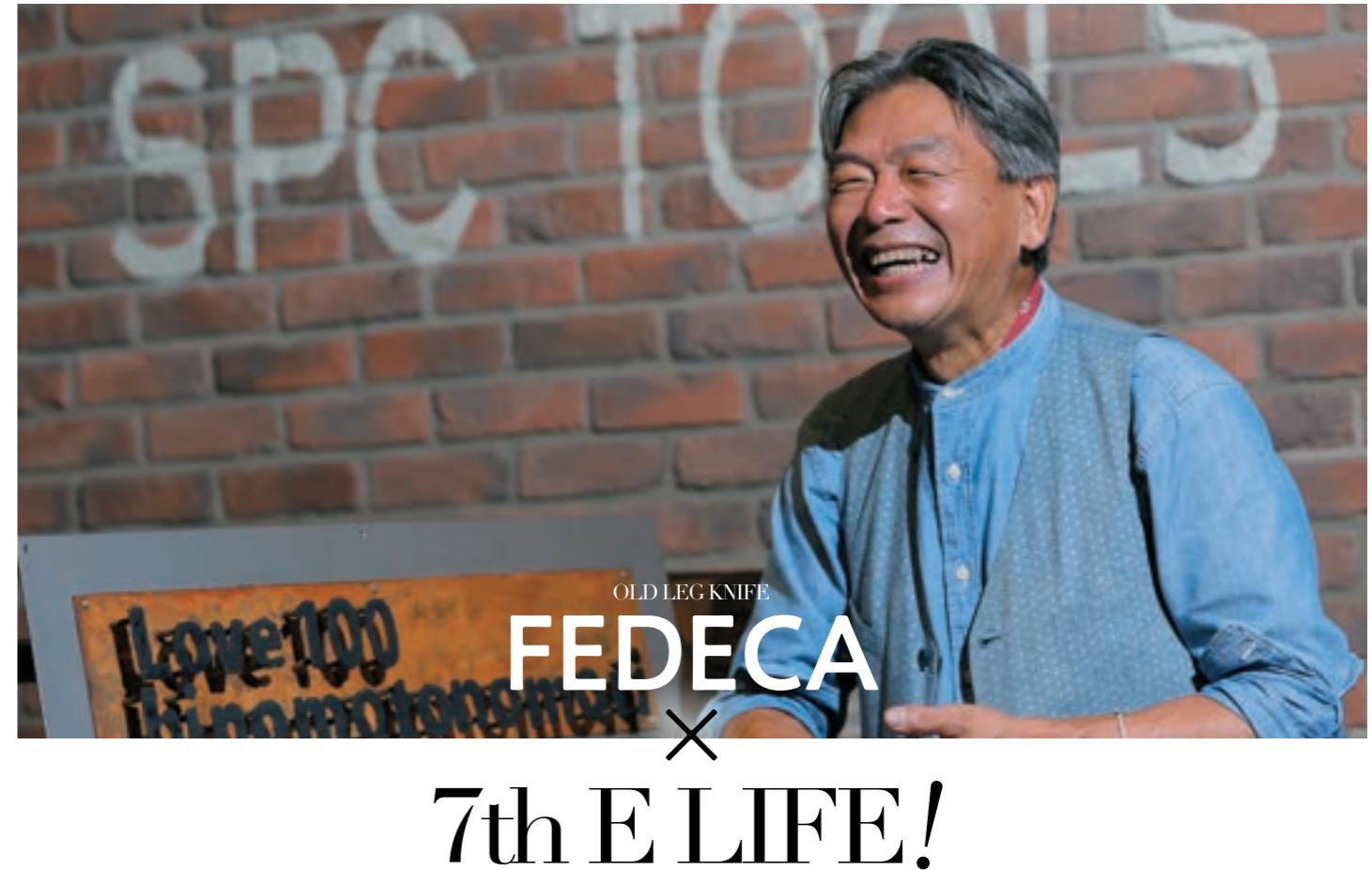
大工道具の木製品の締め具から発想した「バークリングドリッパースタンド」(写真右)。ウォールナットの台座に真鍮のバーがソゾるコーヒー好き必見の新しい逸品です。その他、日常使いできるイツマイナイフの料理包丁や工作用の木を削るクラフトナイフなどすべてはここ刃物の本場である兵庫県三木市で生産しています。

WORKSHOP

ナイフ作りという体験を重視するワークショップも随時イベント等で開催。カップル、ファミリー、女性を中心に大人気。保護者同伴なら10歳からでもチャレンジ可能です。



ここはFEDECAのショールーム。残念ながら一般公開はしていませんが、こんなところにもメーカーとしての深い思い入れを感じますね。



切ること、削ること、モノ作りの基本となる動作の大切さ、

多くの人に刃物でモノを作る楽しみや喜びを感じて欲しい。刃物のある暮らしを今一度見直す…

そんなFEDECAの思い、7th E-Lifeも大いに賛同しています。



カーボンと鉄の融合が鋼(ハガネ)であることから、FE=フランス語でofの意、CA=炭素(カーボン)を語源とするFEDECA(フェデカ)のナイフ。7th E-Lifeでも取り扱いしている人気のブランドです。そして“折り畳める包丁”がコンセプトの「イツマイナイフ」。1番のこだわりはデザイン。今までの刃物のイメージを覆すようなデザインが特徴です。

”削るは楽しい“自分だけのナイフ！”

播州三木は鍛冶屋のまちとして知られる兵庫県三木市がFEDECA生まれた地。その母体は神沢(カンザワ)鐵工というプロ用ツールが専門の老舗メーカー。そこからアウトドアマーケットに向けたブランドが発信されました。それが「FEDECA(フェデカ)」です。

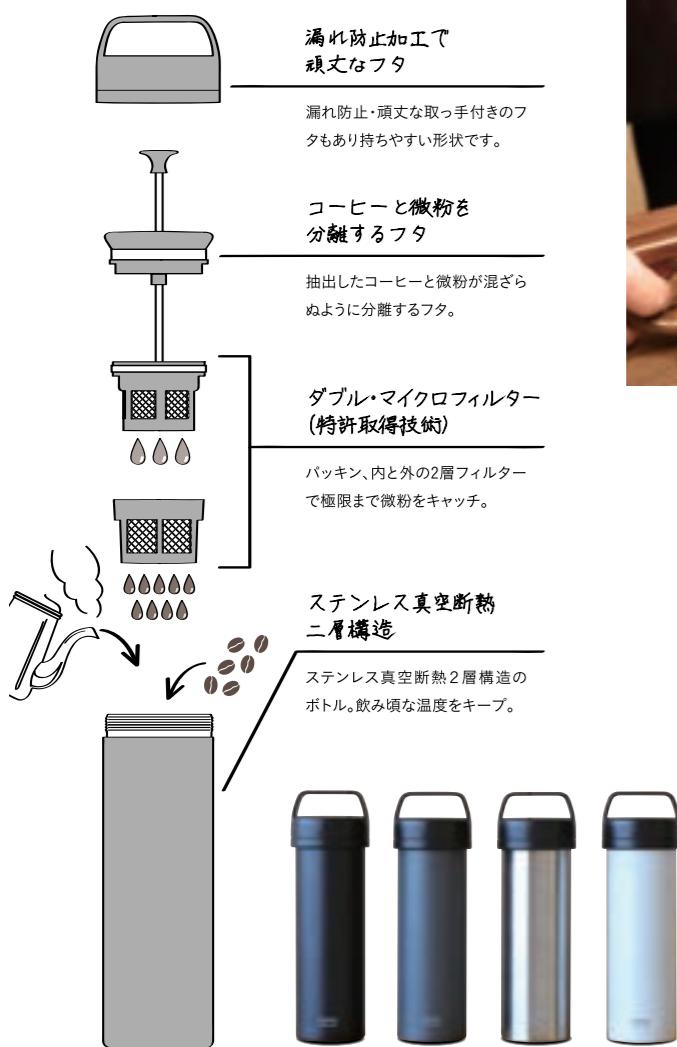
ブランド「コンセプト」が「木と鉄の文化の継承」。人間の生活に一番必要な部分であるにもかかわらず、教育の現場からも遠ざかっている「刃物」という文化。刃物は怖いではなく、削るは楽しい”をコンセプトに作った、初心者でも手軽に自作できる“これが世界にひとつだけの俺のナイフ”と言えるものと、「イツマイナイフ」とネーミング。特別な道具を必要としない自宅のリビングでも作れるクラフトナイフとして誕生し、持ち手の部分をD-R-Yで加工するフォールディングナイフKITとして登場しました。家でも外でも使える、今では、30～40代の男性アウトドアキャンパーを中心に大変人気のナイフです。

本格コーヒーが誰でもいつでも楽しめる。

Coffee lovers にこそ使って欲しい



旅先でも、山の上でも。外出先に、お気に入りの挽いたコーヒーの粉だけ持つて、いけばいつでも簡単に本格コーヒーが飲める世界最軽量級のコーヒーソール「ESPRO」。飲み頃な温度をキープするボトルの保温時間は約6時間。



ナチュラル・リーフ103さんとのコラボにより
革製のボトルケースも現在製作中。肩掛け
したり、腰につけたり、動きやすさの邪魔は
しないように多彩な使い道をご用意しました。
500mlの市販のペットボトル入れとしても
利用できるので、アウトドアのお供として
ぜひ連れて行ってください。

本格コーヒーが簡単に6STEPで抽出!



1 フィルターをシャフトにしっかりと装着 2 15~20gの粗挽きコーヒー豆を入れる 3 本体
内側にある「MAX」のラインまでお湯を注ぎ、中を軽く攪拌する 4 ボトル内の液面はこんな感じ
5 フィルターを本体にはめ込み、シャフトはまだあけたまま飲み口を装着。4分間蒸らして
抽出 6 本体を片手で持ちながらシャフトに力を掛け、フィルターを少しずつ押し下げていく
» 完成! 熱さに気をつけながらお飲みください!

COFFEE FRENCH PRESS

ESPRO
X

7th E LIFE!

ウルトラライトトラベルプレス

そのネーミングのとおり、

外出先のどこででも、抽出器具なしで
誰でも簡単に美味しいコーヒーが楽しめる。

淹れる人の技術に左右されず、

微粉のないクリアな舌触りを同時に実現。

コーヒー油を含んだ深く豊かな味わいです。

しかも、どこへでも持ち出しやすいハンドル付き。

身近なお供に、ぜひ。

バリスタいらすの本格珈琲
がいつでも楽しめる
本格的なコーヒーを、バリスタの
力を借りずに誰でもいつでも楽しめ
る。そんなことが出来たらと願う
コーヒー好きは山ほどいますよね?
カナダ発のエスプロ社は、マサ
チューセッツ工科大学出身の2人の
エンジニアによって生まれました。
通常の金属フィルターよりも外
側で9倍、内側で12倍もの目の細か
な2重のマイクロフィルターと密閉
真空パッキンを搭載することでプレ
スした際の雑味の原因を除去。一度
プレスすると、フィルターの下に溜
まったコーヒーの粉と抽出された
コーヒーは分離され、そこで抽出は
ストップ。過抽出にならないのがポイ
ントです。だからシャフトを押し込ん
だ後に、放置時間が長くなつても長
くクリアな味が楽しめるのです。
粗めに挽いたコーヒーを引いた粉
を入れて、お湯を注いで4分蒸らす。
あとは抽出するだけで出来上がり。
都会のサラリーマンから片時も子
どもから目が離せないママ、海や山
が大好きなアウトドア好きまで。す
べてのコーヒー好きにオススメです。



ボトルの内容量は16オンス(473ml)。コンビニのレギュラーサイズの1杯分が約150mlだとすると約2~3杯のコーヒーを作ることが可能。重量は、プレス、フィルター部を全て入れても210g。全く荷物として気にならない軽量さ。ボトルのカラーは、ブラック/グレー/ステンレス/ホワイトの4色です。ちなみにサイズは…高さ235mm、直径65mm、
フタ直径75mm。



(右・中)ゆったりとしたシルエットのオーガニックコットン糸を使用したスウェットシャツBEETLE&ワーゲンBUS。秋から春まで着用していただけます。¥4,290／¥5,390(KIDS/UNISEX)、(左)ボア部分にリサイクルポリエステルを使用したVWボアフリースベストTI BUS。切り替え部やポケット部にはナイロン素材を使用しています。¥5,390／¥7,590(KIDS/MEN)

キッズからパパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃんまで、家族みんなで着られるのもこのVWアパレルの強み。VW公認のオフィシャルライセンスのアパレルウエアです。



まずは大人用をデザインし製作してから同デザインをキッズ用に落とし込む。だから、キッズに着せても決して甘くないティストが保たれる。100～120cmサイズは特に人気。

家族おそろいのトータルコーデもこなす 着こなしやすいVANライフな服



ポケットブルツートートバッグ(L)



ワイドキャンバストートバッグ



ショルダートートバッグ

キャンバストートバッグ

1 ポケットブル仕様でDカン付き。バッグ収納時にカラビナなどでカバンに取り付け可能。ポケットブルツートートバッグ(L)/(VW TI BUS) ¥3,190。**2** A4サイズが横に入る大きさの丈夫で持ちやすいキャンバス生地を使用。ワイドキャンバストートバッグ ¥2,640。**3** 16ozのキャンバス地で裏面にラミネート加工を施した生地厚素材。バッグの内側にポケット付属、ベットホルダー付き。アーリーバスキャンブショルダートートバッグ ¥4,290。**4** ワーゲンバス登場70周年記念のタイプ2デザイン。ラフに使える12ozキャンバス生地を使用。キャンバストートバッグ ¥2,090。

ご注文は→<https://7th-e-life.jp>から検索！

volkswagen

-Meet- 7th E LIFE!

みんなが憧れるけど、なかなか所有は出来ない
クルマ=VWバス。そう、でもアパレルグッズが
あつたら欲しいですよね？ モチーフがアウトドア、
ファミリーで楽しめて家族みんなが着られる。
そんなところにも7thが惹かれる理由があります。
自分の人生をカラフルに彩ってくれる衣服の存在に
7th E-Lifeも注目しています。

VW公認の
オフィシャルアパレル！

2020年の昨年、満70歳となっ
たフォルクスワーゲン（以下VW）バ
スのタイプ2。メーカーの枠を飛び
越え、バンライフにピッタリな世界中
に愛好家がいるワンボックスのアイ
コンです。

ドイツ本国のVW本社と直接やり
取りをしながらメンズ、レディース、
キッズのアパレルを展開。ここに紹介
のアイテムはすべてVWのオフィシャ
ルライセンス取得のアイテム。

日本規格のサイズ感とプリント。
どこか柔らかいキャラクター、そして
色使い。もちろんVWは歴史のある
ブランドなので年齢を問わず気兼ね
なく使っていただけます。

登場するキャラクターはVWバス
の中から、アーリーバスのTIとレイ
イト、アロハシャツ、トートバッグなど。
7th E-Lifeのオンライン
ショップで購入可能です。



ONE SENSE SEAT COVER

Brooklyn style — YOUTUBER

California style — CRAFTSMAN

NEW YORK style — HAIRSTYLIST

California style — FAMILY

人がどう思うかは関係ない。“自分らしくしたい”
人たちがクラフトプラスのシートカバーの愛用者。
それは、自分らしくあるために。他すべては純正だけど、
シートカバーだけ、という人から全体をコーディ
ネートする人まで。自分のライフスタイルの表現に
必要な色や素材をそれぞれがチョイス。自分らしさ
の表現として、あなたがあなたらしく居られる、
そのカーライフをクラフトプラスのシートカバーが
ちょっとお手伝い。本当に皆さん、いいセンスです。

WAGEN VAN LIFE

VWマークが叶える

家族みんなで楽しめる

憧れのVAN LIFEの服



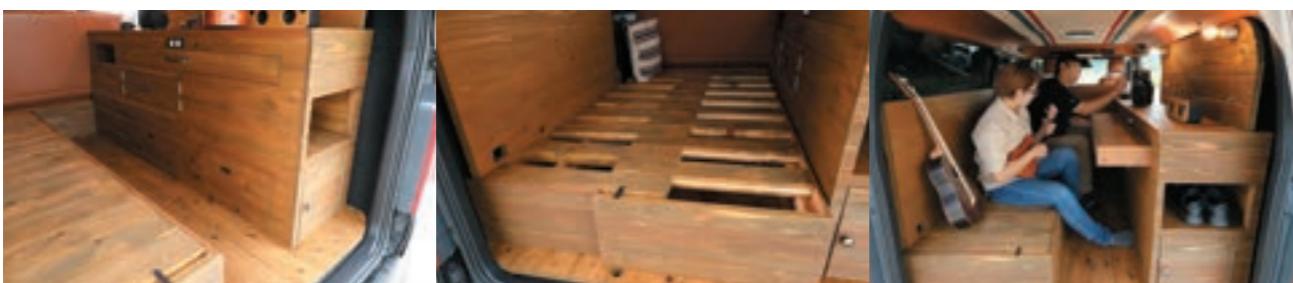
セカンドテーブルは人々自分達で無垢材を使用してDIY。でも、よりクリエイティブの高いものが欲しいと、クラフトプラスで製作。PC作業も楽なリビング兼ダイニングの場所。



車内で使える楽器を、ということで奥さん用にウクレレ、旦那さん用にウクレレベースを積んでいます。写真は1.5合用炊飯器でご飯を炊いているところ。2名分の量としてはちょうどいいとか。仕事でもプライベートでも使いやすそうな室内空間です。



センターーコンソールはユーチューブの撮影の際にカメラをセッティングできるよう工夫済み。コンソール天面の射置きが外せるように万能オフ製作しました。天井はユーチューブのコラボ企画でクラフトプラスのウエちゃんとタッキーが作った合作、船岡生地に「ザーのライン」がいいアクセント！



“ここはやっぱりプロに頼もう！”と思ったというベッドキット。お世話になっている藤本工務店の大工さんが4人掛かりで約3日、サイドキャビネット、天板だけ檜のベッド、杉の木の床を製作。押し込めばイス、引っ張り出せばベッド、中は収納と大活躍なベッドです。サイドキャビネットの中には長い三脚など映像用機材が収納できます。さらに重中泊グッズや炊飯器なども収納しています。

Yuuki Nagaosa / Kaori Nagaosa

YOUTUBER

Brooklyn Style



ドキュメンタリーが大好きで仕事以外でも撮影に出たい、それも夫婦2人で…
うのがユーチューバーになったきっかけというナガオサさん夫婦(以下ドキュメントさん)

相棒のハイテニスと一緒に取材させてもらいました！

エースで。標準ボディなのも、都内での仕事が多く停めるところに困らぬようになると、これ一択でした。

ユーチューブって、カメラに語り掛けますが、私たちは2人のありのままの姿を大切にしています。そんなドキュメンタリースタイルにこだわっています。カッコいいだけの映像は実はわりと誰でも撮れるもの。そもそも中身があつて、見て楽しめるものにこだわっています」。

仕事とユーチューブの境界線なく撮影仕事の合間に車中泊しているとうなおふたり。このハイエースも車中泊もどちらもガツツリ使用で車夫が凝らされています。

「今の目標は『田舎へ行つて田舎で暮らす』ですね。ふたりとも高原が好きで湖に近いところで暮らすのが夢で。キャンピングカー製作をして、土地を探して、キャンピングカーをペッドルームにそれを家として使うと。細々とした小屋を足していくで。それがいつの間にか家になつているような。それがユーチューブをやつている間の夢であり、人生の夢でもありますね」。素敵なふたりのユーチューブぜひ観てくださいね!

メインカメラはLUMIX SIHのシネマカメラ。カメラマン兼ディレクターの夫と、アシスタント兼インタビュアーの妻。夫がメインで編集、妻がサポート。娘のあつたこのコンビがドキュメントさんの直骨骨!



車両はハイエースの標準ボディ・スーパーGL。ネットで見つけたFLEXに行き、各ポイントをカスタム済みの車両を購入。角目4灯は最近カスタムしたばかり。出先で撮影・編集も行うおふたりにとってはまさに最高の使える移動オフィス!

CRAFTSMAN

California Style



「クラフトプラスのシートカバーはピッタリ感がすごいんです。純正シートにバチバチに合わせてあるところはお気に入りですね。質感もバッチリです」。



「今年の7月頃にクラフトプラスのシートカバーを付けました。自分のスタイル的に、レザーや濃い色の高級感のあるものではなくて、遊び心のあるポップな物が欲しくて。明るい色の方が自分らしいと思いましたね」。



2020年の4月に納車されたという長屋さんのデリカD:5。タイヤとホイールは新車の購入時に購入しましたが、基本はノーマル派のこと。



長屋さんは店舗に置くオーダーメイドの家具を作っている家具屋さんにお勧め。基本は木工だけ、ガラスやアイアンを組んで作ることもあるとか。家具の検品や出荷を主に担当する、アンカーレスの重要な役割を担っているのだそうです。



ものづくりをする人。それも本格家具を手掛ける人にもクラフトプラスのシートカバーを使ってくれている人がいます。

ものづくりをする職人だからこそ、物に対する目線は厳しいハズ。

果たしてそこにはどんな想いがあるのでしょうか？

アウトドアが好きで、釣りや車中泊もこなすアクティブ派。小4と小1の男の子がいる素敵なパパでもあります。ちなみに、釣りの時はひとりで車中泊をすることが多いとか。「子どもたちがよく後ろに行きたがるんですよ。ベッドキットを付けないのはそのため。子どもの自転車を2台積むこともあります。2列仕様+ベッドキットではなく、3列シートのままでいいんです。本当はルーフテントもつけたいのですが室内を狭くしたくないので荷物が外に積めるルーフキャリアでいいかな？」キャンプとかを考えるとキャラにして上に荷物を積んでもと考えています”。どこまでも優しい長屋さんのパパの顔が垣間見えました！



家具の検品や出荷を主に担当する係…という現場ではエライ方ですが、もちろん自ら道具を使って手直しをしたり、作業することもあります。そんな製作の第一線で働くプロフェッショナルに選んでもらえるシートカバーは幸せです。

現場ではいつも笑いの絶えない長屋さん。関連業者の方からの信頼もかなり厚いのが印象的でした。本当に頼りになるアキの存在！

店舗用のオーダーメイド家具を作る会社で働く長屋さん。家具屋さんと聞くとお仕事用に愛車を使つていいそうなイメージですが？

「会社に仕事用のハイエースがあるので、このデリカは完全にプライベートカーです。僕の趣味はほん100%アウトドア関連ですね。釣りは海釣りがメインで、キャンプ焚き火も大好きです。音は音楽もやっていましたね」。

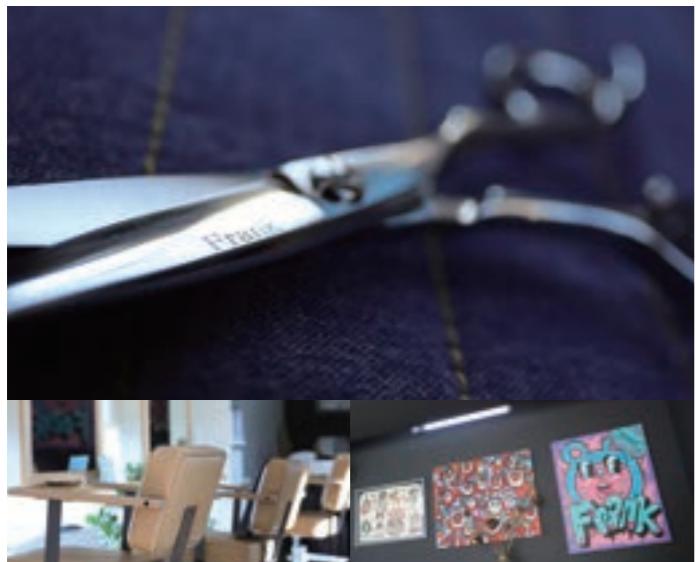
アウトドアが好きで、釣りや車中泊もこなすアクティブ派。小4と小1の男の子がいる素敵なパパでもあります。ちなみに、釣りの時はひとりで車中泊をすることが多いとか。

「子どもたちがよく後ろに行きたがるんですよ。ベッドキットを付けないのはそのため。子どもの自転車を2台積むこともあります。2列仕様+ベッドキットではなく、3列シートのままでいいんです。本当はルーフテントもつけたいのですが室内を狭くしたくないので荷物が外に積めるルーフキャリアでいいかな？」キャンプとかを考えるとキャラにして上に荷物を積んでもと考えています”。どこまでも優しい長屋さんのパパの顔が垣間見えました！

HAIRSTYLIST NEW YORK Style



サーフィンやマラソン、自転車、ソロキャンプなどクルマ以外にも多趣味な修司さん。ひとつの趣味を深掘りするより色々とツマミ食いするのが好きで、常に新しいことにチャレンジ、なんだとか!



もう一台の足グロマであり、気兼ねなくアウトドアに行けるバジェロ・ミニの室内。以前の愛車T100トラックにはブルーのデニム×茶色のライン、このバジェロ・ミニにはブルーのデニム×白ラインをチョイス。「このシートカバーをつけて結構経ちますが、全然ヘタリもないし、白のラインも汚れないですね」と修司さんからは高評価。

ちなみに、店内の壁には個性的なアート作品も飾られていて左写真の一番右はクラブとかでライブペイントをやっているアーティストのものとか。



美容室フランク
岐阜県揖斐郡大野町下磯133
営業時間:9:00~18:30
(~20:00(金曜日ナイト))
定休日:毎週月曜日、第1・3火曜日
TEL:0585-52-9614



明るく清潔感にあふれた美容室をバックに、右端にチラッと見えているバジェロ・ミニは修司さんの密かなお気に入りグルマ。1.5インチの車高アップとリヤバンパースのワイルドな見た目にももちろん、カリフォルニアスタイルのシートカバーも装着されています。



このミニ・クロスオーバーを買った当初は、内外装とも全身真っ黒でまとめていて「それはそれで良かったのですが“全身黒だと高級感が出過ぎた?”となっちゃって」。シートカバーを付けようと新しいニューヨークスタイル、それも從来路線をアップデートした新デザインのデニム×ハリスツイードにチャレンジしたとか。



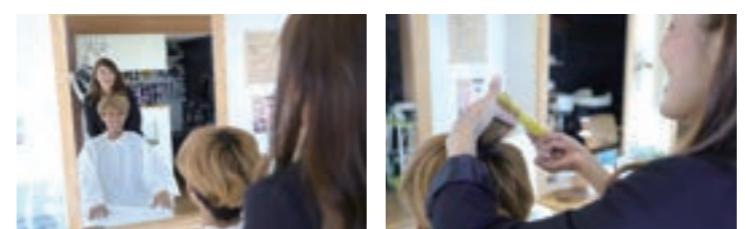
T100トラック、バジェロ・ミニ、そしてこのミニと計3台クラフトプラスのシートカバーを歴代愛車について愛用してくれているヘアリストの飯沼ご夫妻。そしてミニを颯爽と乗りこなす奥様の典子さん。さて、そのカーライフは果たして!?

夫婦のライフスタイルに密接に合ったからこのクルマをチョイス。カジュアルにもフォーマルにも使えるところがキャンプ、ロードバイクなどアウトドア派の修司さんのお気に入りであり、奥様の典子さんも可愛くて仕方ないところとか。

現在のシートカバーを付ける前は乗っていたミニに影響を受け、おもわず買ってしまったのだとか。

夫婦のライフスタイルに密接に合ったからこのクルマをチョイス。カジュアルにもフォーマルにも使えるところがキャンプ、ロードバイクなどアウトドア派の修司さんのお気に入りであり、奥様の典子さんも可愛くて仕方ないところとか。

現在のシートカバーを付ける前は乗っていたミニに影響を受け、おもわず買ってしまったのだとか。



エステティシャンであり美容師でもある奥様の典子さん。Frankでは主にエステ部門を担当しています。店名のFrankとは文字どおり“気軽に来店できる”と“皆さんの好きな場所になってもらいたい”のが名前の由来。お店には0歳から90歳以上のご婦人まで来店。月に一回は「親子カット」もやっています。

メルレザーのワンポイントが効いたフランクという美容室を経営している飯沼ご夫妻の愛車はミニ・クロスオーバー。好きな洋服屋さんが乗っていたミニに影響を受け、おもわず買ってしまったのだとか。

夫婦のライフスタイルに密接に合ったからこのクルマをチョイス。カジュアルにもフォーマルにも使えるところがキャンプ、ロードバイクなどアウトドア派の修司さんのお気に入りであり、奥様の典子さんも可愛くて仕方ないところとか。

現在のシートカバーを付ける前は乗っていたミニに影響を受け、おもわず買ってしまったのだとか。

夫婦のライフスタイルに密接に合ったからこのクルマをチョイス。カジュアルにもフォーマルにも使えるところがキャンプ、ロードバイクなどアウトドア派の修司さんのお気に入りであり、奥様の典子さんも可愛くて仕方ないところとか。

現在のシートカバーを付ける前は乗っていたミニに影響を受け、おもわず買ってしまったのだとか。



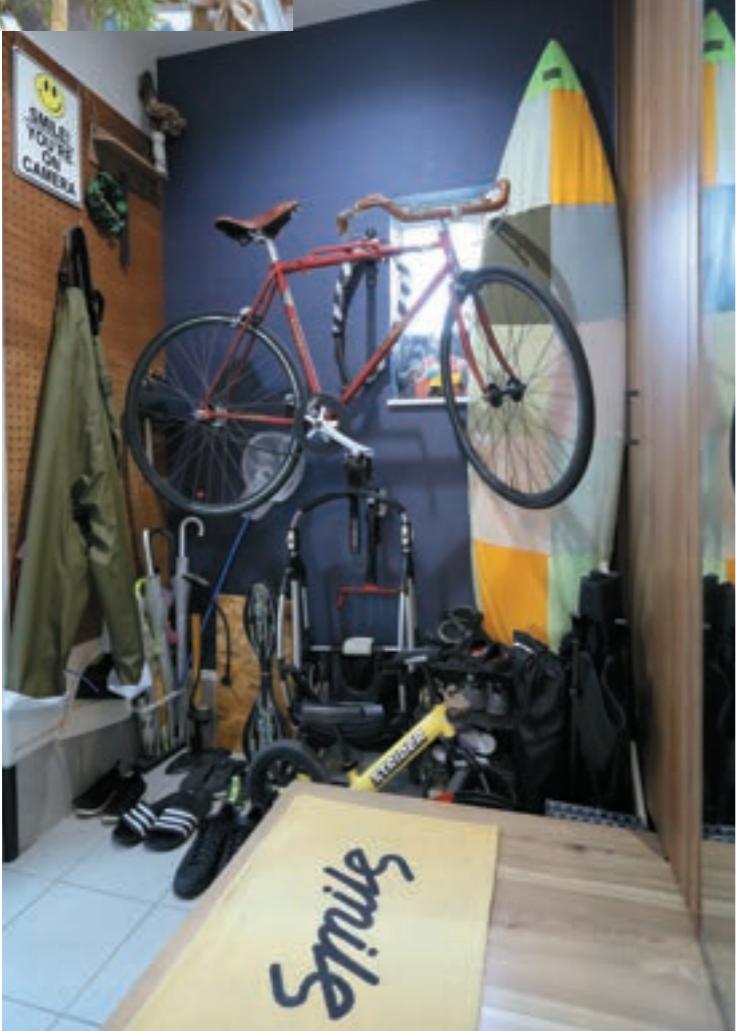
笑顔が絶えない長女の董(スミレ)ちゃん。
まさにスマイル=smile! 明るくアクティ
ブな松田ファミリーだからカリフォルニア
スタイルのシートカバーがとてもお似合い



車中泊が苦もなく出来てしまうハイ
エースは松田ファミリーの笑顔を
生み出す縁の下の力持ち的存在。
パパはこだわりのアウトドアギアの
配置や車内のレイアウトを考える
のに余念がありません。



をつなげてオーニング的に使用。山や
湖畔へと頻繁に遊びに出かけるため
買ったばかりのハイエースは半年で
もう「万キロを突破したとか。
キャンプに行った時の料理はパパ
が担当。「キャンプでは焚き火しながら
お酒を楽しんでいます」と忙しい
固してくれたキャンプの、いやハイ
エースの実力と存在の大きさを、今
更ですが再確認しました!



サーフィンにSUP、キャンプの品が並ぶ松田家
の玄関。長女の董ちゃんは、スマイル=smileとい
うこともあり玄関マットも“スマイル”グッズ!

笑い声とおしゃべりの絶えない仲良し
ファミリーの松田家。お隣には高校時代
のバスケット部の先輩が住んでいて、ホーム
パーティーもよくやるのだそう



自宅リビングの有孔ボードの壁はパパの自作。クーラーボックスの上にも
板をあしらうなどDIYもお得意。ママはレディース服セレクト店の店長だけ
あって夫婦揃ってセンスがバツグン。家の中には木や緑のこだわりの品が
たくさんレイアウト。ステキで落ち着く空間です。

Matsuda family

FAMILY California Style

イケメンなパパとオシャレなママ。

そして笑顔がいっぱいの子どもたち。

そんな松田家の共通の趣味はキャンプやアウトドア。

明るくアクティブなファミリーに
最高な相棒のハイエースです。



なんと生まれたばかりの岳久くんは生後1ヶ月でも初キャンプ
を体験済み。取材日までにすでに3回もこなしたツワモノです。
将来、兄弟の誰よりもナイスなキャンパーになるかも!?



実は昨年4月に買ったこのハイエース、約半年で走行距離が1万キロを突破! 以前愛用していたデリカD:5から乗り換え
を決意したのはママが目惚れしたから。笑顔が素敵な松田ファミリーは見ているこちらがハッピーになります!



医療系のお仕事に勤務する松田パパ
率いる松田ファミリー。家族の要
となる美知子ママ、7歳の長女の董
ちゃんを筆頭に、4歳の慧くん、今
年の8月にはあらたに誕生の岳久
(がく)くんの3人の子どもたち。
現在の愛車は名古屋のイベントで
偶然見かけ、「目惚れして購入した
ゴーデンミラーのハイエース。このハイ
エースはベッドキットとリヤシート
がフルフラットに展開するため川
舟も大好きなパパ。SUPでは
子どもたちとタンデムすることも。
サーフィンやSUPなど海のス
ポーツも大好きなパパ。SUPでは
虫が嫌いな美和子ママ。キャンプはそ
こが唯一のNGで、長女の董ちゃんも
かなりの虫嫌いだったんだけど、今で
はバッタを捕まえられるまでに成
長。やはりアウトドアは回数を重ね
て慣れないといけないんですね!
キャンプでは、ハイエースにタープ





いろいろなところから移民を受け入れている数多くの人種が生活する街。いろいろな考え方もある。そう、ニューヨークは自由の象徴。その個性だったり自己表現の仕方だったり、そんな気持ちをこの「ニューヨークスタイル」と言う言葉に込めました。いつものドライブがなぜかワクワクするような、車に乗ることが楽しくなる、そんな気持ちにさせてくれるシートカバーを、と作りました。



デザインはタイプ1から3まで3種類を用意。オトナな男性をイメージした重厚なデザインの「タイプ1」、クラフトプラスでは初となるホワイト系生地を採用した欧州高級車をイメージした「タイプ2」、さらに今までのデニム路線を生かしつつ、遊び心を散りばめながらも上品さが際立つ「タイプ3」。どれも、これまでのラインとはひと味違う魅力溢れる最新モデルです。



今回の新作にはマット系のレザーを使用しました。敢えてムラのある表情を見せるこのレザーは「Baron」というシリーズから採用。アンティーク調のレザーが艶のあるレザーとは一味も二味も違う空気感に仕上げてくれます。



**NEW YORK
Style**

“アーバンな魅力が溢れる マットレザー&ハリスツイードの最新作”

ハリスツイードを使用した
最新シートカバーが登場！

「カリフォルニア」と「ブルックリン」とも違うハイグレードな最新モデル

『ニューヨークスタイル』。

その最大のポイントは第二にデザイ

ン。ハリアーやランドクルーザー、外車

のミニなど、よりハイクラスなクルマの

内装に相応しく、ミドルクラスや軽

カーナどの室内はアッパークラスなイ

メージべと底上げします。

第二に、新素材「ハリスツイード」の

採用。こちらはハリスツイード協会か

らも認可済み。本国から取り寄せた

高価な生地は「ベルンボーン柄(白×

黒)」と「千鳥柄(白×青)」の2種類。ハリスツイード生地は當時生産しているわけではないためその希少性も付加価値としてプラス。秋や冬を想起させるツイードですが、実は通気性はレザーよりも良好。つまりムレにくい。年中使ってもらえる生地だということです。

第三の特徴は、今回初採用のマット系レザー。敢えてムラのある表情で、さらにこのレザーは耐次亜塩素酸に対応した生地。この生地ならアルコール消毒での拭き上げが可能になりました。

購入希望の方は7thのECサイト

をチェック。適合車種は300車種以上で全車専用設計絶賛発売中です。



デニムは誰にでも愛されている万人ウケする素材、コーデュロイも今では市民権を得るまでに成長、ではツイード生地の需要は果たしてどうなのか？これまでのアウトドア路線、カジュアル路線とはひと味違う今回のアーバンなデザイン、それが果たしてどこまで響くか…そこをリサーチしたいと、マクアケを利用しました。

Column



「クルマに乗った時の臭いで何が不評か」というとエアコンやタバコの臭い、そしてシートについた臭いです。実際、ほとんどの男性は車内の臭いに鈍感。「これは車内が“グサい”だけではなく、香りが強過ぎる場合もそうです。男性は香水も付け過ぎる傾向があるので気をつけください。女性は臭いに対して敏感なので、合成的な匂いには身体に良いものと悪いものがあるので注意が必要です。アウトドアやサーフィンを楽しむなど自然が好きな人は自然由来の香りにするのがいいでしょうね。芳香剤、消臭剤、アロマ…それぞれ種類は違いますが、車内でもしアロマを使うのであれば、眼鏡を抑えたい時は「刺激の強いもの」を。例えばペパーミントやローズマリー、スペアミントなど。万人受けならオレンジとかの「柑橘系」。集中力をアップしたいなら「空気の浄化作用」のあるユウカリなどもオススメ。芳香剤以外に使えるそなにはスプレー式カフタを開けると香りが出るタイプ、環境に優しいウッド式など。手軽でオススメなのはウッドチップのヒノキや、爽快感ということならシーブリーズ系もいいでしょうね。」

男性は香りを付け過ぎる傾向があるので注意。
女性は香りに敏感、車内偏差値に影響しますよ。



Hang Out × 7th E-Life



アウトドア家具のハングアウトと7th E-Lifeがコラボした、ファイアーサイドテーブル。アイアンと高級ウッドの異素材による斬新な組み合わせ。薪をくべながらお酒を楽しめるテーブルが天板として付くという贅沢。ハングアウト通常品との違いは天板に厚みのあるウォールナットを使用したこと。重厚な装いが室内でもアウトドアでも楽しめます。

■Fire Side Table
【天板材質：ウォールナット】価格未定
(※この商品はハングアウトのオンラインショップ(<https://hangout-online.jp>)で購入が可能です)

LEATHER HOLDER



バリスタが居なくても誰も簡単に本格コーヒーが楽しめるトラベルプレスのESPRO。アウトドアに持ち出せるこのESPROのボトルを肩かけしたり、腰に吊したりできるレザーストラップ付きのケースがこちら。製作したのはナチュラル・リーフ103さん。レザー職人による味わい深い仕上げと、経年変化が楽しめるヌメ革素材をぜひ楽しんで。

■レザーホルダー
【材質：ヌメ革】¥6,500(税抜)

Nukumo KUKUSA CUP



Nukumoシリーズのククサ。ククサとは古くから伝わる木製のマグカップのこと。高級家具に使われるウォールナットを贅沢にくり貫き一品ずつ手作り。だから木目も含めひとつとして同じものはありません。ククサを贈られた人は幸運になるという言い伝えも。大切な人へのプレゼントやギフトにもどうぞ!

■カップ
【材質：無垢材／ウォールナット】¥15,000(税抜)

ESPRO COFFEEPRESS



2重構造のフィルター効果によりコーヒー挽き豆による微粉な混入を大幅に減らせるESPRO。コーヒー豆を丸ごと抽出した重厚さと、オイル分が生み出す滑らかな舌触りをぜひご堪能ください。

■ESPRO コーヒープレス
[P5 コーヒー(左)]¥9,800(税抜)
[P7 ステンレス(右)]¥13,000(税抜)

FEDECA



誰でも真っ直ぐに、少ない力でザクザク切れるブッシュクラフトに最高なノコギリ。アルミダイキャスト製の頑強なフレームで刃を固定。刃が曲らないため安定したストロークで木を切断できます。

■FEDECA Bushcraft Saw
[ブッシュクラフトソー]¥4,800(税抜)
専用レザーケース¥3,900(税抜)／専用替刃¥2,200(税抜)

Nukumo HANGER



温もりのある本格ウッドの無垢材を使用し、アーチ形状にかたどられた重厚なハンガー。ヌメ革による引っ掛け部分と天面のワンポイントがアクセント。大切な洋服の保管にぜひ。大人用と子ども用アリ。

■ハンガー
【材質：無垢材】¥5,500(1個・税抜)／3個セット¥15,000(税抜)

舞洲バーベキューパーク



大阪市内からクルマで約20分、本格BBQが楽しめる舞洲バーベキューパーク。レンタル品によるお手軽BBQからマイグッズでの本格的なデイキャンプまで楽しめます。

■舞洲バーベキューパーク
住所:大阪市此花区北港緑地2-1-107 TEL:06-6147-5858 営業時間:10:00~17:00
<https://maishima.com/bbq-park/>

TINY CAMP VILLAGE



1日5組限定、完全予約制の穴場的なキャンプ場。そこはまるで森に囲まれた小さな秘密基地。オートキャンプ、デイキャンプ、トレーラーサイトが楽しめます。

■TINY CAMP VILLAGE
住所:奈良県厚木市七沢1854 TEL:070-3366-7738
<https://www.tiny-camp-village.com>

7th E-Life

7th E-Life
2021 LIFE STYLE MAGAZINE
#02

Earth、Water、Air、Fire…

心癒されるエレメントに感謝しつつ

自然の中でくつろいだ時間を満喫できるこの瞬間

心通わせる自分の仲間や家族

好きな空間があるだけで豊かな時間を満喫できる

心身ともに癒される 心やすらぐ時間が必要です

7th E-Lifeが生み出した素朴なウッドマテリアル

車内の各所にナチュラルなウッドファニチャーが用意され

木のぬくもりがあたたかい気持ちに戻してくれる

車内の隅々にまで細やかな配慮がされているのがわかる

それが7thからの愛情のこもったメッセージです

